

フェインジェクト®静注 500 mg 血管外漏出を予防するためのお願い

フェインジェクト®静注 500 mg（以下、「本剤」）を投与する際は、血管外（静脈周囲）に漏出しないよう十分に注意してください。漏出した場合、漏出部位周辺に皮膚の炎症や長期にわたって褐色に色素沈着することがあります。

本剤が血管内に注入され、血管外に漏出していないことを十分に確認してください。
漏出により長期的に色素沈着することがあります。

本剤の添付文書の「14.2 薬剤投与時の注意」に、以下のとおり、血管外の漏出に関する注意を記載し、注意喚起していますが、本剤発売以降、血管外漏出による色素沈着の症例が報告されています。色素沈着は長期にわたって認められていますので、投与の際には、血管外に漏出しないよう、十分に注意してください。

< 薬剤投与時の注意 >

注射に際しては**血管外に漏出しないよう十分注意**すること。血管外に漏出した場合には、漏出部位周辺に皮膚の炎症及び長期にわたる色素沈着を起こすことがある。血管外漏出が認められた場合は、適切な処置を行うこと。

1. 投与時の注意点

- 血流が良好で、太く弾力があり、損傷のない静脈を選んでください。
手の甲など、動きやすい静脈は避けてください。
- 逆流を確認する、生理食塩液を用いるなど、静脈への開通性を確認してください。
- 再刺入する場合は、同じ部位での刺入は避けてください。

2. 投与中の注意点（定期的に観察をしてください）

- 投与開始 10 分程度は、注入部位を注意深く観察してください。
 - ・注入部位に異常（浮腫、紅斑、疼痛、漏出）がないか
 - ・点滴がスムーズに流れない、点滴速度が低下するなどの異常がないか
- 漏出が疑われる場合には直ちに投与を一時中止してください。

3. 投与後の注意点（抜針時、残った薬剤の漏出を防ぐために）

- 生理食塩液を用いるなどして、本剤が完全に静脈内に投与されたことを確認してから、抜針してください。
- 注射部位をしっかり圧迫止血してください。

フェインジェクト 静注 500mg による血管外漏出について

本剤は高用量のため、血管外に漏出すると漏出部位周辺に広範囲における茶褐色の色素沈着が認められ、長期にわたって残存します。色素沈着に対する効果的な治療法はありません。漏出しないよう予防して頂くことが最大の対策となりますので、前述したとおり、投与される際には十分に注意してください。

なお、本剤の血管外漏出による色素沈着は、漏出時に自覚症状がない、あるいは色素沈着を認めない場合があります。そのような場合でも、後日、遅れて現れることがありますので、投与時に血管外への漏出が疑われた場合は、刺入をやり直すなど、注意してください。

患者さんへの説明・注意のお願い

発売以降、報告されてきた症例には、患者さんが点滴投与中に携帯電話を操作するなど、注射部位を動かした可能性がある事例や、点滴中に感じた投与部位の痛みや違和感をすぐに医療関係者に申告しなかった事例がありました。

血管外漏出を予防するためには、患者さん自身にも注意して頂く必要があります。

投与する前に、患者さんへの説明・注意もよろしくお願いします。

フェインジェクト® 静注 500mg を投与される患者さんへ

フェインジェクト® 静注 500mg は^{せきかつしよく}赤褐色の液体のため、血管の外に漏れると、その周辺の皮膚に炎症や長期にわたる色素沈着を起こすことがあります。

■ 点滴中は注射部位を動かさないでください

■ 点滴中に以下のような違和感があった場合は、すぐに医師や看護師に声をかけてください

- ✓ 注射部位の周りの痛みを感じる
- ✓ 注射部位の周りが腫れている、赤い
- ✓ 注射部位の周りの皮膚が茶色になってきた



製造販売元：ゼリア新薬工業株式会社
2021年7月作成 FE103

患者さん向けの指導箋は、弊社MRが持参させていただきます。
また、弊社のホームページ（<https://medical.zeria.co.jp/>）からもダウンロードが可能です。